

平成26年度 子育てサロン実施地区研修会・連絡会 実施報告書

子育てサロン実施地区を対象に、地域で子育てをする重要性を再確認するとともに、実施地区のボランティアの日頃の課題や悩みを解決するための研修を行い、よりよいサロンを作っていくことを目的に、下記のとおり研修を実施しました。

実施日：平成26年10月27日（月）
午後1時30分～3時30分
場所：市立社会福祉センター・3階
講演：地域ぐるみで子育てを支援する
講師：甲南女子大学人間科学部
鈴木 大介 氏



まず鈴木先生より「なぜ地域で子育てが必要なのか」についてお話いただいた後、参加者は8グループに分かれ、「自分たちの子育てサロンの良さ」「困っていること」を一人ずつ書き、それについてグループで分かち合った。また、「困っていることを乗り越えるためにできること」についても話し合った。

発表時の主な意見

(良さ)

- ・ボランティアさんが熱意を持って携わってくれている。
- ・親子とボランティアさんがうまくコミュニケーションが取れている。

(困っていること)

- ・参加者が減ってきた。
- ・親子の期待に添えているか不安である。

(困っていることを乗り越えるには)

- ・参加対象（地域）を広げる
- ・チラシを配って、こまめに声をかける。
- ・親子の希望（意見）を聞く。
- ・ボランティア同志で運営について話し合う機会を設ける。



2グループからの発表後、先生より「サロンを続けるにあたって」として、「気軽に、無理なく、楽しく、自由に、の気持ち」「来てくれる親子、担い手の両方が楽しめること」「参加者が持つ思いをくみ取る」ことが大切であることなどをお話いただいた。

【参加地区】

旭町[2名] 新町[2名] 葵町[1名]
新安松[3名] 中町[2名] 日根野[5名]
二小[4名] 鶴原[2名] 中庄[1名]
安松[1名] 湊[3名] 上之郷[2名]
一小第一[3名] 一小第二 [2名]
長滝中の番 [4名] 計 37名

アンケートの抜粋

- ・同じ悩みを話し合えた。
- ・他地域の活動がよくわかった。
- ・地域の役割をわかりやすく教えてもらった。
- ・グループワークを通じて問題点を洗い出し、整理することができた。